

各位

一般財団法人 獣医療法食評価センター

犬猫の飼育者を対象とした療法食の適正使用の理解促進を目的とした  
 院内掲示用ポスターを9月より全国の動物病院にご提供開始（環境省後援行事）

一般財団法人 獣医療法食評価センター（理事長 局 博一：以下「当センター」と略す。）は、療法食の適正使用について犬猫の飼育者の理解促進のために重要となる次の事項を収載し、動物病院の待合室等に掲示できるポスターを制作しました。

- 定期的な受診と療法食の見直し時期
- 療法食の特殊性についての理解促進：①病気に合わせた特別な栄養特性、②栄養成分の増減と基準、③基準への適合を示す認証マーク
- 療法食の学習動画の紹介

なお、ポスターの企画および全国の動物病院へのご提供については、ペットフード安全法を所管する環境省のご後援をいただきました（期間：2024 年 8 月末まで）。

また、ポスターの配布では「動物病院専用アプリ」の紹介パンフレットも同封いたします。飼い主への食事管理指導や入院管理など日々の診療業務にご活用いただき、安全で効果的な食事療法を進める一助となることを願っております。

院内掲示用ポスター



病状によってお薬が変わるように  
**定期的な受診で療法食も見直しを**

栄養管理  
 再発防止  
 食事管理の見直し（疾病ごとの推奨時期）  
 1ヶ月 3ヶ月 6ヶ月

安全で効果的な食事療法のために  
 ぶつうのゴハンとは違う**療法食**のことをもっと知ろう！

病気に合わせた特別な栄養特性  
 栄養成分の増減には**基準**がある  
 基準への適合が確認された製品には**専用のマーク**がつく

ワンちゃんやネコちゃんのための  
**療法食のお話**

動物病院専用アプリのご紹介



**【動物病院専用アプリ】犬猫の食事療法サポート**  
 獣医師と動物看護師による食事管理指導をサポートするスマートフォンアプリ

食事療法は病気の犬猫の治療の中で行われる栄養管理で、病状の変化に合わせて薬の種類や量が変化するのと同じように、使用する療法食の種類や与え方も変わることがあります。安全で効果的な食事療法を進めるには、動物病院で定期的に診断を受けることが大切です。飼い主への食事管理指導や入院管理などの日々の診療業務において、是非、このアプリをご活用ください。

**飼い主への食事指導や入院管理に役立つ3つの機能**

1. 食事管理指導のポイントをチェック
2. 長期的な食生活の傾向を把握
3. 大切な健康情報

特定の疾病または健康状態における「重要な栄養特性」と「見直し時期」が確認できる。  
 各疾病に対応する登録療法食のリストから、詳しい製品情報を閲覧できる。  
 犬猫の体重・健康状態・フードのエネルギー含有量を入力すると、1日当りの必要量（エネルギー量・食事量・水分量）が計算できる。

※登録療法食：栄養成分の量や比率が調整され、特定の疾病または健康状態にあるペットの栄養学的サポートを目的に、獣医療において獣医師の指導のもとで食事管理に使用されることを意図したペットフードである療法食において、栄養特性などを定めた療法食基準への適合状況を第三者機関である当センターが確認した製品で、パッケージには専用のマークが貼られます。

**アプリのダウンロードはこちらから（無料）**

App Store からダウンロード  
 iOS 12.0以上が必要

Google Play でインストール  
 Android 6.0以上が必要

本アプリは動物病院専用です。利用をはじめるとき「所属（動物病院名）」、「所在地（郵便番号）」、「「機能」の入力をお願いしております。

■一般財団法人 獣医療法食評価センターとは■

(公社)日本獣医師会の「療法食の在り方検討委員会(2011-2013 年)」の報告書の提言に基づき、非営利の第三者組織として、2014 年 1 月に一般社団法人として設立。療法食の適正品質及び適正使用を推進し、家庭動物診療における犬猫の健康管理に寄与することを目的に、①療法食基準の整備、②療法食の評価と普及、③食事療法指導の推進、④飼育者に対する教育啓発、等の活動を行う。2018 年 2 月に一般財団法人に改組し、事業を継承した。

【評議員】太田亟慈(犬山動物総合医療センター 代表:愛知県)、草場治雄(室見動物病院 院長:福岡県)、高橋 徹(高橋動物病院 会長:北海道)

【役員】理事長／局 博一(東京大学 名誉教授)、専務理事／藤井立哉(ペットフード・テクノロジーサーチ 代表)、理事／杉浦勝明(東京大学 特任教授)、監事／大澤孝明(大澤知的所有権事務所)

■お問合せ先■

担当: 藤井立哉(専務理事)